ボーリング柱状図

調　査　名	砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	6	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）	北　緯	34° 48′ 01.7962″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 9月30日～平成28年10月 1日	東　経	132° 50′ 09.9974″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	GH 196.57m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種			
試錐機	東邦製DO型	ハンマー落下用具	半自動型		
総掘進長	4.00m	エンジン	ヤンマーNFD80型	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位／測定月日	深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	196.27	0.30		礫混じりシルト質砂	茶						細砂主体。φ2-10mmの流紋岩礫を含む。GL-0.00～0.20mに草の根を混入する。															
	196.05	0.52																								
1	195.57	1.00		礫混じり粘土							粘土主体。φ2mm程度の流紋岩礫を含む。			1.15	20/30				46		S/M	150	70	0	無水/0	0
				礫混じりシルト質砂							細砂主体。φ2-10mmの流紋岩礫を含む。GL-0.80m以深にはφ3mmの礫を多く含む。			1.45												
2	194.57	2.00		流紋岩	茶褐	D	Ⅳ	c	δ	3	DL～DM級相当の流紋岩。主に5cm以下の角礫状～片状コアから成る。全体に亀裂発達する。	D		2.05	50/20			9/30		66	W/M	100	100	1	清水/11	5
	193.82	2.75		流紋岩										2.25								200	120			
3				流紋岩		B	Ⅲ		γ		DH級相当の流紋岩。亀裂面は風化し粘土化するが，岩片は硬質でハンマー打撃で金属音がでる。	CL	10/3 3.60	3.00	貫入不能				33		W/D	300	120	1	清水/11	0
4	192.57	4.00									GL-2.75m以深，コアの状態良くなり5～15cmの短柱状コアとして採取される。岩級区分はCL級相当。			4.00	貫入不能			10/1								
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										

コア採取率 ×（%）　最大コア長 ●cm　RQD ［%］　0 20 40 60 80

標準貫入試験 N値 0 10 20 30 40 50 60

コア採取率 ×（%）　最大コア長 ●cm　RQD ［%］

0［ 0］(100)

3［ 0］(100)

2［ 0］(100)